

地底のうた 1

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

序章（合唱）

有明の海の底深く
地底にいどむ男たち
働く者の火をかかげ
豊かな明日と
平和のために
たたかい続ける
革命の前衛 炭坑労働者

次ページへ

地底のうた 2

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

「第一章」

(テノール独唱・合唱)

眠った坊やのふくらんだ
頬をつついて表に出れば
夜の空気の冷え冷えと
朝の近さを告げている

「ご安全に」と妻の声
渡す弁当のぬくもりには
つらい差別に負けるなど
心をこめた同志愛

夜は暗く壁は厚い
だけれど俺たちや負けないぞ
職制のおどかし恐れんぞ
あのデッカイたたかいで

次ページへ

地底のうた 3

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

3 / 8

□□□□□■

会社や、ポリ公や、裁判所や、
暴力団と。

男も女も、子供も年寄りも、

「ガンバロウ！」の歌を武器に
スクラムを武器にたたかい
続けたことを忘れんぞ

夜の社宅の眠りの中から
あっちこっちからやってくる仲間

悲しみも喜びも分け合う仲間
闇の中でも心は通う

地底に続けたたたかいめざし
今日も切羽へ一番方出勤

次ページへ

地底のうた 4

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

「第二章」(合唱)

□□□□■

崩れる炭壁ほこりは
舞い汗はあふれ
担ぐ坑木は肩は破れ 血は滴る
ドリルはうなり
流れるコンベア 柱はきしむ

独を資本の合理化と
命をかけた闘いが夜も昼も
暗い坑道が地熱に焼け

ただようガス滴る水 頬をぬらし
岩の間から
力ツタはわめる 飛び去る炭車
岩盤きしむ 落盤だー

米日反動の搾取り
命をかけた闘いが
夜も昼も続く

次ページへ

地底のうた5

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

「第三章」 (テノール・バリトン重唱)

落盤で殺された友の変わり果てた姿
狂おしく取りすぎる奥さんの悲しみ
幼な児は何にも知らず背中で眠る
胸突き上げるこの怒り この怒り
ピケでは刺し殺され
落盤では押し潰され
炭車のレールを血で染めた仲間

労働強化と保安のサボで
次々に仲間の命が奪われてゆく
奪ったやつは誰だ！ 「三井独占」
殺したやつは誰だ！

「アメリカ帝国主義」
奪ったやつを 殺したやつを
許さないぞ 断じて許さないぞ

地底のうた 6

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

「第四章」 (合唱)

1.

おれたちは栄えある

三池炭坑労働者

団結の絆

さらに強く

真実の敵

打ち砕く

力に満ちた

たたかいを

足取り高く

すすめよう

地底のうた7

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

2.

おれたちは栄えある

三池炭坑労働者

スクラムを捨てた

仲間憎まず

真実の敵打ち砕く

自信に満ちた

たたかいの

手を差しのべよう

呼びかけよう

地底のうた 8

作詞【荒木 栄】
作曲【荒木 栄】

3.

おれたちは栄えある

三池炭坑労働者

弾圧を恐れぬ

不敵の心

真実の敵

打ち砕く

勇氣に満ちた

闘いで

平和の砦

かためよう

かためよう